

様式1（専門職によるアドバイス支援事業 依頼書）

平成30年9月28日

公益財団法人テクノエイド協会 殿

（依頼者）

〒	252-0303
住所	神奈川県相模原市南区相模大野2-14-3
事業者名	工房SERA
担当者所属	代表
担当者名	稲住義憲
電話番号	090-4136-8423 042-743-1184
電子メールアドレス	yk-inazumi@jcom.home.ne.jp

専門職によるアドバイス支援事業 依頼書

貴法人が福祉用具・介護ロボット実用化支援等一式の一環として行う、介護ロボット等に係る「専門職によるアドバイス支援事業」について、下記の書類を提出して依頼します。

記

1. 専門職によるアドバイス支援事業 依頼概要書（別紙）
2. 会社概要（任意様式）
3. これまでの介護ロボット等に関わる開発実績がわかる書類（任意様式）
※）実績がない場合は、提出不要

（本書類の取扱いと留意事項について）

- ご提出いただく「専門職によるアドバイス支援事業 依頼概要書（別紙）」は、介護施設等とマッチングする際、当協会のホームページを通じて、介護施設等へ公開いたします。従って、記載する内容は、公開可能な範囲で差し支えありませんが、具体的な記載がない場合には、マッチング先が現れない場合もあり得ることをご了承ください。
- 適切なお協力がいただける介護施設等とマッチングするためにも、記載内容は技術的な事に偏らず理解しやすいものとしてください。
- 当協会では記載内容や本事業に関わる各種の相談を承っております。
- 案件によっては、マッチング先が現れない場合もあり得ることをご留意ください。

平成30年9月28日

専門職によるアドバイス支援事業 依頼概要書

1. 希望する事業の種類 (いずれかに○印を記入してください。)

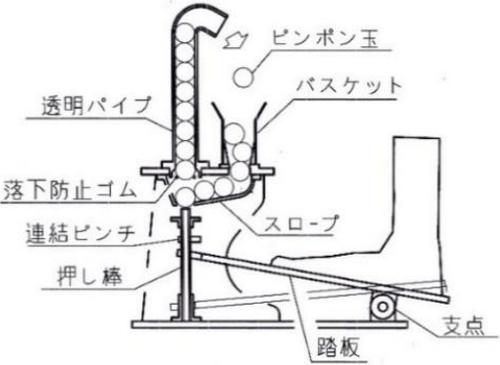
1. 介護現場と開発企業の意見交換の実施	
2. 試作機器へのアドバイス支援	○

2. 依頼者(企業)の概要

企業名	工房SERA	
担当者名	稲住 義憲	
担当者連絡先	住所	〒252-0303 神奈川県相模原市南区相模大野
	電話	090-4136-8423 042-743-1184
	電子メールアドレス	yk-inazumi@jcom.home.ne.jp
主たる業種	福祉用具の開発製造販売	
主要な製品	高齢者向け足首リハビリ器具	
希望する施設等の種類や職種等	①施設：リハビリ型デーサービス、リハビリテーション病院、特別養護老人ホーム ②職種：作業療法士、理学療法士	
その他		

3. 当該機器の開発コンセプト又は試作機器等の概要 (可能な限り詳しく記入してください。)

機器の名称(仮称)	転倒を予防する足首リハビリ器具	
	試作機器の有無	1. 有 ・ 2. 無
試作機器の有無及び機器のコンセプト(試作機器あれば写真を添付)	<p><u>機器の目的</u> 本品は高齢者の転倒事故を予防するために開発した足首リハビリ器具です。高齢者は運動不足と加齢が原因で、筋力低下と同時に足首が固くなり、足首を曲げる運動機能が低下します。 本品は「足首を曲げる(背屈)/伸ばす(底屈)運動」を繰り返すことで、足首の関節を柔らかくする効果と同時に筋肉(前膝骨筋)の筋力アップが期待できます。 注) 人間は歩くとき、無意識に前膝骨筋を収縮させ足首を曲げて歩行しています。</p> <p><u>特徴</u> ①温かいデザイン 高齢者に好まれる温かい肌触りの木材で躯体を作りました。 ①ゲーム感覚 通常リハビリ運動は単純な運動のため、飽きて中断しがちです。その点、本品には飽きることなく続けられるように、運動に連動してピンポン玉が目前を落下する動き(ゲーム性)の機能を付加しました。 ②調整機能 ・足首を曲げる角度と重量を3段階に調整できる機能を付加しました。 ・使用方法を変えれば、太ももの筋力アップもできます。</p>	
		

<p>想定する使用者及び使用方法、使用場面</p>	<p>想定する使用者 主に、転倒事故が心配される高齢者。 高齢者以外では、脳梗塞等で麻痺がある人、骨折しリハビリ中の人、一定のリズムの動作がむずかしいパーキンソンの人</p> <p>使用方法 ①まず椅子に座って踏板上に足を乗せます。 ②足首を曲げて踏板上に持ち上げると、ピンポン玉が1個だけ透明パイプに上がります。 ③次に足首を伸ばした後、再度足首を曲げるとピンポン玉がもう1個透明パイプに侵入します。 ④この運動を繰り返すと、透明パイプにピンポン玉が積み重なります。 ⑤積み重なった先端のピンポン玉はバスケットに落下します。 ⑥落下したピンポン玉はスロープを通じて再び透明パイプに送られます。</p> <p>このようにピンポン玉は永久的に透明パイプとバスケットを循環します。ピンポン玉9個に1個の黄色い玉を混ぜれば回数が簡単に計算できます。</p> <p>使用場面 デーサービス施設、リハビリ病院、特別養護老人ホームを想定しています。</p> 
<p>現在の開発状況と主な課題</p>	<p>開発状況 開発を開始して1年。3Dプリンターで造形したプラスチック部品と木材パーツの組立キッド式です。今までリハビリ病院(相模原市と海老名市)とデーサービス(三浦市)で試用中です。特許6343853を取得しています。</p> <p>主な課題 量産時のプラスチック成型金型費用を捻出することが課題です。</p>
<p>特にアドバイス(意見交換)を希望している事項</p>	<p>①利用者さんに喜んで使用していただけますか？ ②リハビリ効果は期待できますか？ ③使い方が直ぐに分かりますか？ ④運動量の調整機能が有効ですか？ ⑤改善点(問題点)は何ですか？ ⑥継続して利用したいですか？ ⑦その理由は何ですか？ ⑧いくら以下なら購入されますか？</p>
<p>その他</p>	

(注) 必要に応じて記載欄を増やしてください。

会社概要

屋号	:	工房SERA
主な事業	:	福祉機器用具の開発販売
理念	:	オリジナル福祉用具の開発を通じて社会貢献する
代表	:	稲住義憲
開業年月	:	2012年3月
住所	:	〒252-0303 相模原市南区相模大野 2-14-3
電話/FAX	:	042-743-1184
メール	:	yk-inazumi@jcom.home.ne.jp
URL	:	http://kobo-sera.sakura.ne.jp
事務所	:	〒252-0303 神奈川県相模原市南区相模大野 3-3-2 bono 相模大野3階ユニコムプラザ内 シェアードオフィス2

事業の内容 : 一人メーカー。
超高齢社会が加速する中で 「使う人に喜ばれる福祉製品を世の中に提案すること」を目標に掲げて、オリジナル福祉製品を開発しています。
主な開発品目は、高齢者のリハビリ器具、片麻痺の人とリュウマチの人の自助具。

【 主要設備 】



3Dプリンター

方式 : 熱溶解積層式 (FDM)
型式 : SCOOVO X9
外形 : 441×406×343 (mm)



NCルーター

型式 : KitMill MOC900
外形 : 750×1200 (mm)
ストローク : X軸574、Y軸910、Z軸56



小型精密旋盤

型式 : Mr Meister コンパクト7
外形 : 640×270×210 (mm)

【 オリジナル福祉用具 】



手摺り付き健康踏み台(リハビリ器具)

手摺りがあるので安心、さらに膝の負担も軽く運動できます。
ヒノキの香りがほんのり漂います。
タミの上に置いても大丈夫な構造です。



転倒予防のための足首リハビリ器具(リハビリ器具)

高齢者は加齢と運動不足で、スリ足になり前方の突起物につまずき転倒し易くなります。

本品は足首を柔らかくすると同時に筋力アップが期待できます。
足首を曲げる運動に連動してピンポン玉が目の前を落下してくる面白さが体感でき、飽きずにリハビリができます。

【YouTube(動画) →足首リハビリ器具、ローテク】



ミカンなどの固形物用プルトップ式缶オープナー(日曜雑貨品)

テコの原理で指の弱い女性、高齢者が簡単に開けられる。

握り直すことなく手の前後動作で簡単に開きます。

人間工学的に考えた缶オープナー

特許第 6244575 号



片手で靴ひも結び(自助具)

脳梗塞などで麻痺が残る人が片手で靴ひもを結ぶ自助具

慣れれば簡単に、しっかり靴ひもが結べます。

【YouTube(動画) →片手で靴ひも結び、自助具】



スマホ用タッチペン(自助具)

リュウマチなどで指が不自由な人が手のひらに固定してスマホの画面を操作できます。

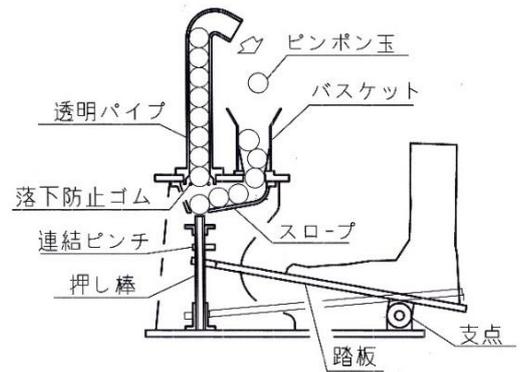
明るいオレンジと黄色のデザイン

転倒予防のための足首リハビリ器具

転ばナイト

本品は高齢者の転倒予防を目的に開発した足首リハビリ器具です。高齢者のデーサービ施設や医療施設リハビリテーション科でご使用下さい。

麻痺治療のリハビリ器具として使用する場合には、作業療法士と理学療法士の指導の下でご使用ください。



1. 基本的な使い方

まず椅子に座って踏板上に足を乗せて下さい。踏板を足で上下に振ると、ピンポン玉がパイプを上がり、先端のピンポン玉がバスケットに落下します。ピンポン玉は永久的に循環します。色付きピンポン玉が2～3回落下まで頑張ってください。

使い方は動画 YouTube でご覧いただけます。（「足首リハビリ器具」と「ローテク」のキーワード検索）

2. 3つの運動

本品は以下の3つの運動があり、それぞれの運動で歩行に必要な筋トレが期待できます。

【足首を曲げる運動】	【足先を持ち上げる運動】	【踵を押し下げる運動】
①踏板上に足裏全部を乗せる ②足首を曲げて踏板を振動させる	①踏板のベルトに足先を掛ける ②足先で踏板を持ち上げる	①踵を踏板の手前に乗せる ②踵で踏板を押し下げる

3. 可動範囲と負荷を調整する方法

【可動範囲】	【負荷】
押し棒と踏板を連結しているピンチを上下に移動して運動レベルを調整できます。高い位置が上級レベルです。 ・ピンポン玉がパイプに上がらない場合は、連結ピンチ位置を一番下に下げて下さい。 ・逆に、ピンポン玉が一度に2～3個落下する場合はピンチ位置を上を上げて下さい。	踏板の上にオモシを乗せて負荷を調整できます。 ・運動が軽く感じる場合にはオモシを踏板に乗せて下さい。 ・最大負荷にするにはオモシを踏板の先端側に移動して下さい。

仕 様	
外形寸法	：約25cm×50cm×70cm(高)
重 量	：約1kg
ピンポン玉	：10～15個
足首曲げ角度	：-5度～+30度
負荷調整レベル	：1～3レベル
可動範囲レベル	：1～3レベル

製造発売：工房 SERA
 代 表：稲住義憲
 Email：yk-inazumi@jcom.home.ne.jp
 URL：kobo-sera.sakura.ne.jp
 携 帯：090-4136-8423
 FAX：042-743-1184
 事務所：〒252-0303 相模原市南区相模大野 3-3-2
 ボーノ相模大野3階 エコムプラザ シェアードオフィス2

